

- 今回説明する事項の資料等について、今年度も印刷物の配布はありません。
- Moodle「理学部教務学生担当掲示板」に、在学生オリエンテーションの資料を格納しますので、必要に応じてMoodle掲示板を確認して下さい。

令和4年度も引き続き、
大学HP「新型コロナウイルス感染症対策を含めた学生生活の留意点」を定期的に確認すること。



The screenshot shows the top navigation area of the Okayama University website. It includes the university logo and name, language selection buttons for English and Chinese, and search and contact links. Below this is a horizontal menu with categories: 受験生の方, 在学生・保護者の方, 卒業生の方, 企業・研究者の方, and 社会人・地域の方. A secondary menu lists various university services like 岡山大学について, 学部・大学院・病院等, 教育・学生生活・就職, 研究・産学連携, 社会連携, 国際交流, and 入試. The current page is identified as 岡山大学について, with a breadcrumb trail: ホーム > 岡山大学について > 広報活動 > 【在学生向け】新型コロナウイルス感染症対策を含めた学生生...

【在学生向け】新型コロナウイルス感染症対策を含めた学生生活の留意点

新型コロナウイルス感染症の感染拡大をうけ、以下のような対応とします。
今後、新たなお知らせがある場合は、このページを更新しますので、定期的に確認していただきますようお願いします。

皆さんが感染しないため、そして皆さんの周りの方々を感染させないため、以下についてご理解とご協力をお願いします。

岡山大学について

学長メッセージ

岡山大学×SDGs

大学概要

公表事項

大学情報

法人としての取組

- 大学への登校（入構）については、**体調に異常のないことを条件**に認めます。
- 大学内では、マスクを着用してください。特に、講義室等で対面授業を受講する際は、**必ずマスクを着用**してください。
- **手洗いや手指消毒**を心がけてください。
- 学内での**3密（密閉・密集・密接）**を避け、授業及び用務の終了後、速やかに帰宅してください。

知らないうちに、拡めちゃうから。



STOP!
感染拡大
— COVID-19 —

発熱等の風邪の症状がある方は、医師の診断書がなくても公欠として扱います。ためらわずに対面授業を休んでください。

手続き：大学HPから授業公欠届を入手し、可能な範囲で事前に、メール等で理学部事務室教務学生担当まで提出すること。

提出先：理学部事務室教務学生担当

メール：igx7778@adm.okayama-u.ac.jp

★★

期間は、主症状が消失した後 5 日を経過するまで。

体調が回復してすぐ登校することは避けてください。

次ページの相談・診療・検査を行うこと。

体調不良の場合



【発熱等の風邪症状がある場合】

- 「かかりつけ医」等に相談すること。
- 県ホームページで探すか受診相談センターに電話相談すること。

風邪・インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症は、いずれも発熱や咳など初期症状が似ています。こうした症状がある場合は、無理して登校（入構）せず、上記に示す「かかりつけ医」等で相談・診療・検査を受けること。

※受診をするときは、必ず電話予約とマスクをしてください。

発熱や風邪のときは「かかりつけ医」にご相談を！

必ず
電話予約をし
マスクをして
受診してください



風邪・インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症は、いずれも発熱や咳など初期症状が似ています。こうした症状がある場合は、無理をして学校や職場等に行かないようにして、「発熱外来」で相談・診療・検査をしてもらいましょう。



【感染した場合や感染が疑われる場合】

理学部事務室及び保健管理センターに連絡すること。

理学部事務室 TEL 086-251-7778

保健管理センター TEL 086-251-7217

- ・新型コロナウイルス感染症と診断された
- ・家族が感染者・濃厚接触者となった
- ・感染者，保健所から濃厚接触者等と特定された
- ・接触確認アプリで通知を受けとった 等

保健所の待機要請解除の指示があるまで登校しないでください。

- 全員原則マスク等を常時着用し，入館するとき，授業開始前及び終了後は手指消毒を行うこと。
 - 講義室の着席不可の場所は使用しないでください。
 - 建物入口，各講義室の消毒液を使用してください。
 - 各講義室に除菌シート・ハンドソープを準備しているので、使用してください。
- 授業終了後は速やかに退出し，キャンパス内での不要な滞在を避けること。

- 定期健康診断は学校保健安全法に基づき実施しています。毎年必ず受診してください。
- 今年度も予約制で実施します。保健管理センターホームページで日程や当日の服装、持ち物などを確認し、予約を取ってください。
- 保健管理センターホームページURL
<https://www.okayama-u.ac.jp/user/hokekan/kakuken.html>

- 岡山大学日本人学生における異文化交流・海外経験等実態調査 (Moodleで回答) 依頼が理学部事務室から学生Gmail宛に4月1日に送付されているので、必ず回答すること。
(回答していない学生がいる場合は、その場で入力)
- 卒業要件について、履修について誤解のないよう、また計画的に履修するよう、関係学生に再度徹底ください。



➤ 必修と選択必修の区別と必要単位数に注意

下記2点については、例年学生がよく見落としている

1. 高年次教養未修得

(高年次教養については2学期のみの開講。今年度2学期必ず履修が必要。)

2. 教養選択必修科目の不足

履修の要確認：教養教育

Moodleに入っていない



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY

5. 卒業要件について

卒業要件単位							
		学 科	数 学 科	物 理 学 科	化 学 科	生 物 学 科	地 球 学 科
科目区分							
教養教育科目					30		
専門教育科目	専門基礎科目			12			
	専門科目			82			
卒業要件単位 合計				124			

教養教育科目		卒業要件単位		
科目区分		必修	選択必修	計
知的理解	現代と社会	「人文・社会科学系科目」	2単位	4単位以上
	現代と生命	「生命科学系科目」	2単位	
	現代と自然	「自然科学系科目」 (注1)	2単位	
言語	初修外国語		4単位以上	
	日本語	応用日本語 ※留学生のみ		
		プレ上級英語		
		上級英語		
		英語特別演習1		
		英語特別演習2		
		英語(スピーキング)-1		0.5単位
		英語(スピーキング)-2		0.5単位
		英語(リーディング)-1		0.5単位
		英語(リーディング)-2		0.5単位
		英語(ライティング)-1		0.5単位
		英語(ライティング)-2		0.5単位
		英語(リスニング)-1		0.5単位
		英語(リスニング)-2		0.5単位
		英語(S&L)-1		1単位
		英語(S&L)-2		1単位
		英語(R&W)-1		1単位
		英語(R&W)-2		1単位
	実践知・感性	実践知		「実践・社会連携系科目」
芸術知		「芸術系科目」		
情報教育		情報処理入門1(情報機器の操作を含む) 情報処理入門2(情報機器の操作を含む) 情報処理入門3(情報機器の操作を含む)	1単位	
汎用的技能と健康	キャリア教育	「キャリア教育・学生支援系科目」		
	健康・スポーツ	健康・スポーツ科学		
	科学	スポーツ演習(する・みる・支える) (注2)		
	アカデミック・ライティング	「アカデミック・ライティング科目」		
導入教育	補習教育	「高大接続科目」 (注3)		
	ガイダンス	自然科学入門 「全学ガイダンス科目」	2単位 1単位	
高年次教養		「高年次教養科目」 (注4)	1単位	
合計			30単位	

注1) 物理学科生については、教養物理学(力学)1及び2、教養物理学(電磁気学)1及び2、教養物理学実験は卒業要件単位に算入されません。
 注2) スポーツ演習(する・みる・支える)は2単位を限度として卒業要件単位に算入されます。
 注3) 補習教育(高大接続科目)は卒業要件単位に算入されません。
 注4) 高年次教養については、理学部開講科目を必ず受講すること。他学部開講の同科目を修得した場合は、卒業要件単位に算入されません。

教養教育科目

科目区分		卒業要件単位		
		必修	選択必修	
知的理解	現代と社会	「人文・社会科学系科目」	2単位	
	現代と生命	「生命科学系科目」	2単位	
	現代と自然	「自然科学系科目」 (注1)	2単位	
言語	初修外国語		4単位以上	
	日本語	応用日本語 ※留学生のみ		
		プレ上級英語		
		上級英語		
		英語特別演習1		
		英語特別演習2		
		英語(スピーキング)-1		0.5単位
		英語(スピーキング)-2		0.5単位
		英語(リーディング)-1		0.5単位
		英語(リーディング)-2		0.5単位

ここから(さらに)4単位以上が卒業要件単位として必要

高年次教養：未履修の人は、この2学期に必ず履修すること。

履修の要確認：専門教育



○地球科学科		履修区分	配当年次	授業科目	単位数	卒業要件単位
専門基礎科目	選択必修	1年次	基礎微積分学 Ia	1	12	
			基礎微積分学 Ib	1		
			基礎微積分学 IIa	1		
			基礎微積分学 IIb	1		
			現代数学要論 Ia	1		
			現代数学要論 Ib	1		
			現代数学要論 IIa	1		
			現代数学要論 IIb	1		
			基礎物理学 1a	1		
			基礎物理学 1b	1		
			基礎物理学 2a	1		
			基礎物理学 2b	1		
			一般化学 1	1		
			一般化学 2	1		
基礎有機化学 1	1					
基礎有機化学 2	1					
基礎生物化学 1a	1					
基礎生物化学 1b	1					
基礎生物化学 2a	1					
基礎生物化学 2b	1					
基礎物理学実験	1					
基礎化学実験	1					
基礎生物学実験	1					
専門科目	必修	1年次	地球科学ゼミナール1	1	23	
			地球科学ゼミナール2	1		
			現代地球科学 1	1		
			現代地球科学 2	1		
			現代地球科学 3	1		
			現代地球科学 4	1		
			基礎地球科学実習	1		
			地球科学ゼミナール3	1		
			地球科学ゼミナール4	1		
			地球科学ゼミナール5	1		
			地球科学ゼミナール6	1		
			地球科学ゼミナール7	1		
	地球科学ゼミナール8	1				
	地球科学特講	4				
	課題研究	6				
	選択必修	2年次	顕微鏡岩石実験 1	1	5以上	
			顕微鏡岩石実験 2	1		
			大気科学実習 1	1		
			測量地理情報学実習	1		
		3年次	固体地球物理学実験	1		
			地球環境化学実験	1		
		2年次	鉱物結晶学 1	1		
			鉱物結晶学 2	1		
			造岩鉱物学	1		
			地形学概論	1		
			固体地球物理学	1		
			地球物理のための数学 1	1		
			地球物理のための数学 2	1		
宇宙と地球の化学 1			1			
宇宙と地球の化学 2			1			
地球惑星化学 1			1			
地球惑星化学 2	1					
3年次	大気科学 1	1	82			
	大気科学 2	1				
	大気科学 3	1				
	大気科学 4	1				
	基礎岩石学	1				
	火成岩成因論	1				
	地球物質反応論 1	1				
	地球物質反応論 2	1				
	情報地質学	1				
	変動地質学	1				
	地質危険度評価論	1				
	地球統計学	1				
	地球形成論	1				
	地球惑星内部構造論 1	1				
地球惑星内部構造論 2	1					
地球連続体力学 1	1					
地球連続体力学 2	1					
地震学 1	1					
地震学 2	1					
地球惑星化学 3	1					
地球惑星化学 4	1					
微量元素地球化学	1					
同位体年代学	1					
大気科学 5	1					
大気科学 6	1					
大気科学 7	1					
大気科学 8	1					
大気科学 9	1					
大気科学 10	1					
大気科学 11	1					
大気科学 12	1					
選択	2~4年次	地球科学特講 1	1	36以上		
		地球科学特講 2	1			
	地球科学特講 3	1				
	地球科学特講 4	1				
3年次	構造地質学実務	1				
	岩石鉱物学実務	1				
関連		他学科関連講目及び共通科目				
その他		他学部関連講目		10以下		
専門教育科目卒業要件単位 合計						94

それぞれの数字に注意。

* 過去の例：専門基礎を14、専門を81履修 = 合計は95となり、専門の卒業要件単位を満たすが、それぞれの条件を満たしていない(専門が1単位不足)ので、だめ。



このような奨学金制度も整備されているので博士課程への進学も考えてみては？

2021年度 各種奨学団体奨学生募集一覧表

■ 本学が取りまとめて申請する奨学金については、下記の「岡大提出期限」までに提出のこと。(募集要項の期限と異なるので注意。)

■ 選考調書(岡大用)欄が「○」の場合、申請書類に「選考調書(岡山大学選考用)」と所得に関する証明書類を添付して提出すること。

■ 併願の可否欄が、「×」の場合、他の給付奨学金との併願はできません。

NO	奨学団体名	対象				金額・期間	岡大推薦人数の上限 ※()内は、 奨学団体全体の採用人数	応募資格(抜粋)	併 可 否 の 欄	申請方法	選考 調書 (岡大 用)	備 考 (※)	申 請 年 度 数	採 用 年 度 数
		学部 生	院 生	貸 与	給 付									
1	公益財団法人 大本育英会 ※株式会社大本組の設立 財団	○	○	○	○	年額120万円 1年間 ※但し条件により継続が認められる場合あり。詳しくは募集要項で確認すること。	80名	博士課程への進学を目指す志ある者で、次の全てに該当する者 ① 日本国籍を有し、岡山大学大学院に在籍していること(教育学研究科・法務研究科を除く) ② 次のいずれかに該当し、大学に申請して学内選考を受け、学長推薦を得ること (1) 修士課程1年次で、修士課程修了後に博士課程へ進学を希望する者(本奨学金制度創設初年度の特例として、令和3年度に限っては、修士課程2年次で修士課程修了後、令和3年4月に博士課程へ進学を希望する者を含む。) (2) 博士課程1年次 但し、5年一貫制博士課程1年次は(1)の枠に該当する者として取り扱う。その給付については募集要項参照。 なお(1)の申請による奨学金の給付を受けた者については、(2)の申請を認めない。 ③ 本人の前年所得が340万円以下であること(但し、その前年所得が企業等からの給与であり、当該企業等を退職または休職して大学院に入学したため、当該給与を得られなくなった場合は応募可。 【申請書類】 下記から印刷 ・募集要項 http://www.okayama-u.ac.jp/up_load_files/shien-pdf/s-keiji-2021No01-1.pdf ・提出書類一覧表(岡大作成) http://www.okayama-u.ac.jp/up_load_files/shien-pdf/s-keiji-2021No01-2.pdf ・大学院奨学生願書 http://www.okayama-u.ac.jp/up_load_files/shien-pdf/s-keiji-2021No01-3.pdf ・振込口座指定書(兼)個人情報取扱同意書 http://www.okayama-u.ac.jp/up_load_files/shien-pdf/s-keiji-2021No01-4.pdf ・収入に関する誓約書(該当者のみ) http://www.okayama-u.ac.jp/up_load_files/shien-pdf/s-keiji-2021No01-5.pdf 【岡大提出期限】 2021年2月22日(月)17時(受付期限延長) ※本学から推薦した学生にのみ、5月31日までに岡大Gmailに連絡します。	×	※12/25補足 応募資格③ 本人の「前年所得」が340万円以下であることは、提出書類⑤市県民税証明書(前年分)の給与収入額が340万円以下であることを指します。	新規	新規		
2	公益財団法人 安藤スポーツ・食 文化振興財団 日清食品・安藤百 福Scholarship	○	○	○	○	年額100万円 1年間 (大学院在籍中は次年度も応募することは可能)	3名程度 (100名程度)	次に該当する者 ① 食科学に関連する研究を行う大学院生(修士・博士課程は問わない) ② 日本国籍を有し、日本の大学院に在籍中の者 ③ 学業、人物ともに優秀かつ健康で、学費等の経済的支援を必要としている者 ④ 就学及び生活状況を当財団に毎月報告、年度末に当財団指定の書 【申請書類】 財団HPから印刷 http://www.ando-zaidan.jp/html/top.html# ※「選考調書(岡山大学選考用)」も必要です。(様式は岡大HPから印刷) 【岡大提出期限】 2021年4月19日(月)17時	○		新規	新規		



博士課程への進学を目指す志ある者で、次の全てに該当する者

- ① 日本国籍を有し、岡山大学大学院に在籍していること(教育学研究科・法務研究科を除く)
- ② 次のいずれかに該当し、大学に申請して学内選考を受け、学長推薦を得ること
 - (1) 修士課程1年次で、修士課程修了後に博士課程へ進学を希望する者
 - (2) 博士課程1年次
- ③ 本人の前年所得が340万円以下であること

大学院生80名
給与月額 100,000円

それぞれの項目に細かな注意事項もあるので、詳しくはHPなどをチェックするか、聞いて下さい。

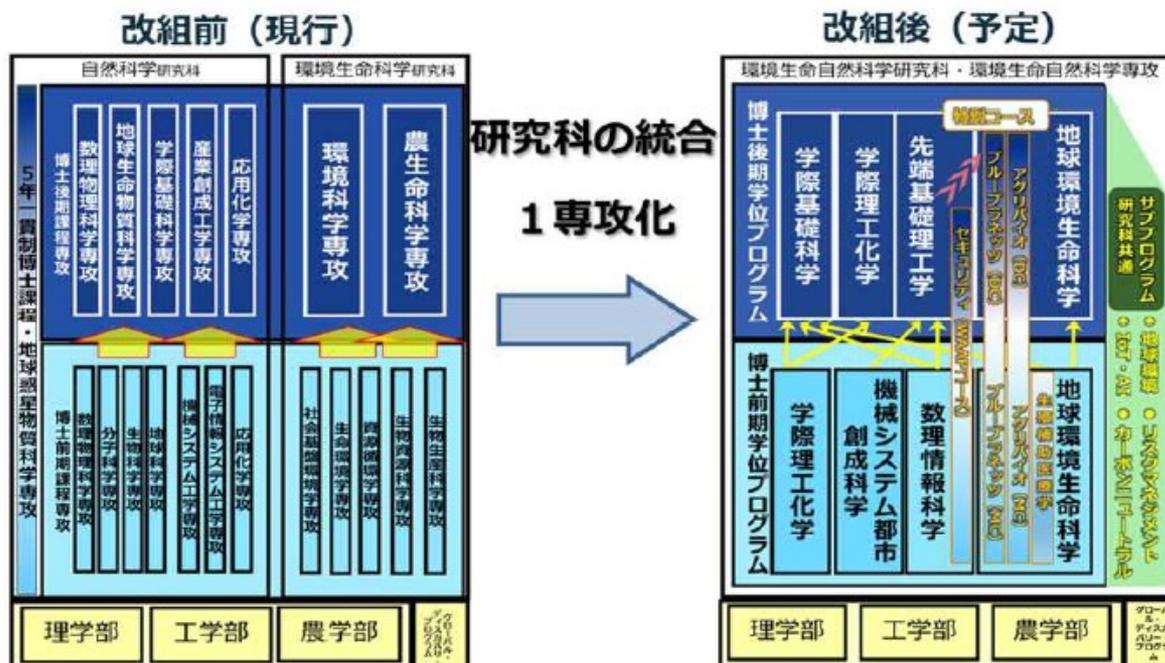
大学院の改組計画について Moodleに入っていない



【予告】

岡山大学大学院自然科学研究科及び大学院環境生命科学研究科の改組計画について

本学では、地域や世界のステークホルダーと協働する「共育共創」のフレームワークを活用して分野横断型、学修者本位のアウトカム基盤型学位プログラムを提供することにより、「主体的に変容し続ける先駆者」として新たな価値創造と世界の革新に貢献する人材を養成するため、令和5年4月に以下のとおり大学院環境生命自然科学研究科（仮称）環境生命自然科学専攻（仮称）を設置する計画であり、文部科学省へ設置申請を予定しております。





令和5年度（第1回募集）の入学者選抜は、現在の研究科・専攻及び選抜方法により実施しますが、本設置計画について申請を行い、認可された場合、本募集要項記載の入試に合格した者は、新研究科に入学することとなります。

ただし、この改組計画については、文部科学省の審議結果によって確定するものであり、変更があり得ます。

※改組計画の詳細については、随時下記研究科 Web サイトに掲載します。

大学院自然科学研究科 <https://www.gnst.okayama-u.ac.jp/>

大学院環境生命科学研究科 <https://www.gels.okayama-u.ac.jp/>

本件問合せ先

岡山大学自然系研究科等学務課 agf8576@adm.okayama-u.ac.jp